

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2020決定。



及び
特別賞受賞品種のご紹介
切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定しています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞	
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	フォトジェニック 特別賞	モニター 特別賞



いい花の**新基準**。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2020-2021 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
秋審査会	審査日：2020年11月2日（月） 会場：（株）大田花き	22品種
切花部門 合計		22品種

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
秋審査会	審査日：2020年11月23日（月・祝） 会場：（株）フラワーオークションジャパン	21品種
鉢物部門 合計		21品種

*2020年4月23日（木）に予定していた切花部門・鉢物部門「春審査会」は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

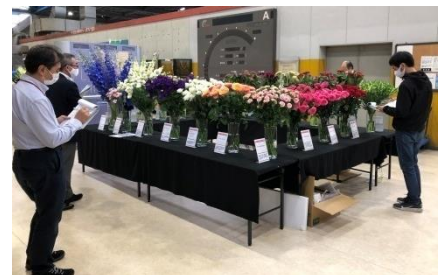
■ガーデニング部門

審査会名	審査日 (会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター)	審査対象品種
冬春審査会	審査日：（第1回） 2019年10月29日（火） （第2回） 2020年 2月 4日（火） （第3回） 2020年 4月14日（火）	2品種
春審査会	審査日： 2020年 6月11日（木）	4品種
夏秋審査会	審査日：（第1回） 2020年6月11日（木） （第2回） 2020年7月28日（火） （第3回） 2020年9月 3日（火）	9品種
秋審査会	審査日： 2020年10月20日（火）	7品種
ガーデニング部門 合計		22品種

審査会の様子



鉢物部門秋審査会の様子



切花部門秋審査会の様子



ガーデニング部門屋根付き施設での審査の様子



ガーデニング部門露地花壇での審査の様子

関東東海花の展覧会でのPR展示のほか、秋審査会後は市場を訪れる買参人の方にもジャパンフラワーセレクションの品種をご紹介します。



関東東海花の展覧会でのPR活動



大田市場花き部中央通路での展示



御協力いただいた審査員の先生方

部 門	審 査 員 名
切花部門	穴戸 純 (株) 大田花き 商品開発部 部長 〈部門長〉 石黒 康二 (株) フラワーオークションジャパン 切花部 営業9課 課長代理 大根 秀夫 (株) 千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株) 白楽花園 チーフデザイナー 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株) 日比谷花壇 東日本バンケット事業部
鉢物部門	長岡 求 (株) フラワーオークションジャパン 専務取締役 〈部門長〉 岡部 幸一 (株) 大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株) オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 商品販売事業本部 店舗事業部 部長 小池 安比古 東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科 教授 向原 潤 (株) ディノス・セシールフラワーネット本部 フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング部門	山本 岳史 豊明花き(株) 企画本部外商部次長 〈部門長〉 尾崎 明弘 (株) オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 村上 智弘 (株) フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 長岡 求 ガーデニング部門長 山本 岳史

ジャパンフラワーセレクション2021-2022の審査会開催予定

切花・鉢物部門

■春審査会（開催場所調整中）

開催日：2021年5月中旬を予定

*決まり次第、ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT'S NEW」に発表いたします。

■秋審査会（大田市場での開催を予定）

開催日：2021年10月～11月頃

*決まり次第、ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT'S NEW」に発表いたします。

ガーデニング部門（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

■春審査会*冬春審査も受付中（植え込み開始しています）

募集締切：2021年1月末頃を予定

植栽開始：2月～3月頃（定植の適期をご相談ください）

審査：4月～5月頃

■夏審査会

募集（一次）締切：2021年1月末を予定

植栽開始：3月～5月頃（定植の適期をご相談ください）

審査：期間中3回程度（5月、7月、9月頃を予定）

切花部門

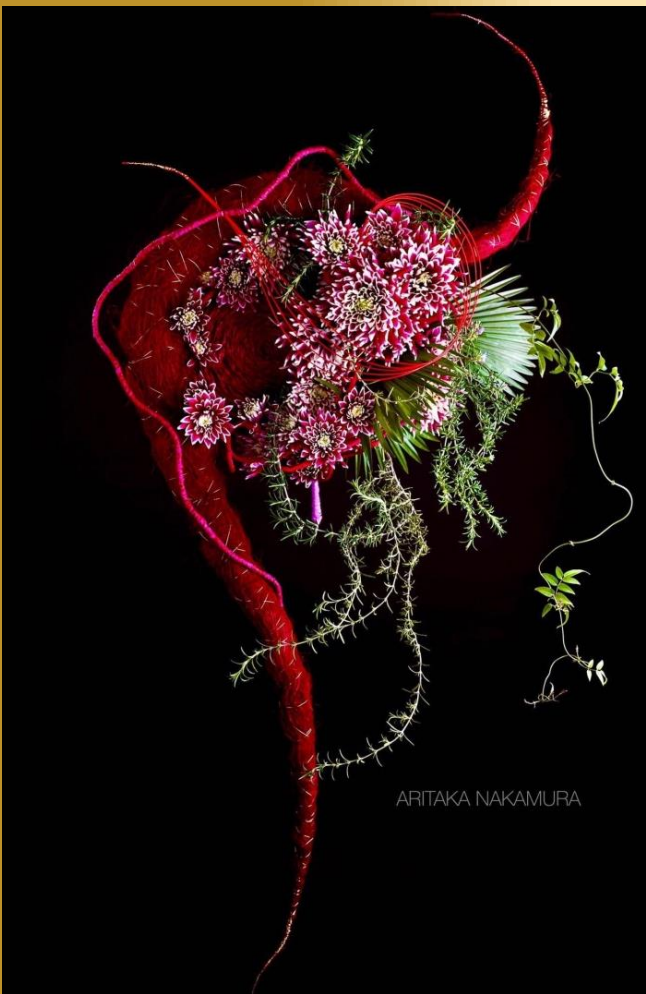
フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2020 イノチオ精興園株式会社 キク「セイフェスト」



受賞者：イノチオ精興園株式会社（広島県）
ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp>
育成者：廣瀬 信雄・宮口 徹
育成者権者：イノチオ精興園株式会社
審査講評：

白とワインレッドの発色の良いバイカラーで、ボリュームのある大輪にはインパクトがある。これまでのキクにはなかったカラーリング。高温期は白が多く、低温期は逆に白い部分が減る。弁先がわずかに反り、動きを添えている。開花と共に色変化するところも魅力である。

樹勢が強く、立枯病の発生や葉上がりも少ないという。個性が強いが、主役級のキクとしてキクの新たな魅力を伝えるフラッグシップとなりうる魅力的な品種。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

覆色咲きの派手で豪華な花をイメージして開発しました。同じキク科のダリアには発色のよい花が多いです。それと比べると菊は地味なイメージがありますが、花弁の大きさや形、発色の具合など良い品種が出来てよかったと思います。

【開発の面白さ・今後の展開など】

種を取って、撒いて、初年度に良い品種に巡り逢えるのは年に1回あるかないかです。出逢った瞬間の感動と驚きは滅多には味わえない喜びです。セイフェストは開花が遅い品種です。花と樹勢は原品種のままで開花のみが早い性質を開発中です。

ARITAKA NAKAMURA

切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2020

有限会社たなまち園芸場 バラ「ブライダルマカロン」



受賞者：有限会社たなまち園芸場（福岡県）
育成者：棚町 満
育成者権者：棚町 満
審査講評：

外花卉から中心にかけてピンクのグラデーションとフリルが可愛い小中輪は、グリーンアイのナチュラルも感あり、現代のデザインにじっくりくる表情を持つ。側枝の花も咲かせるスプレーバラのため花数が多く、1本のボリュームも十分で華やか。また芽かき作業の大幅な削減にも期待できる。

とげなしで、使い勝手の良さ、葉の大きさと花とのバランスも評価された。アレンジからブーケまで用途の幅が広いだろう。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

小中輪のスプレーバラで、花色は外側から内側にかけてピンクに色づき、グラデーションになっています。側花型で輪数が多いのが特徴です。

脇芽が少なく芽整理が不要な品種を目指し、開花の遅い個体を選抜しました。これは側花が色づくまで中央の花が開花しない特性を持っており、これをスプレー仕立てにしたら花がたくさんつくうえに、側花が利用できるのではないかと直感的に思いました。通常、開花が遅い特性は敬遠されますが、逆転の発想を持つことで、これまでにない、輪数の多いスプレーバラを生み出すことができました。親である「マカロン」はアレンジや小売りで人気があり、ブライダルにも対応できるようブライダルマカロンと名付けました。

【開発の面白さ・今後の展開など】

育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもありますが、「必ず良い品種がでるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり試行錯誤しながら、前向きに育種を行っています。今後も、仕事で関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使ってもらえるバラを作っていきます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞・モニター特別賞同時受賞]

バラ「ラブリーラズベリーローズ」有限会社たなまち園芸場



受賞者：有限会社たなまち園芸場（福岡県）
 育成者：棚町 満
 育成者権者：棚町 満
 審査講評：鮮やかで大胆な濃ピンク色の中大輪スプレーバラ。花弁数が非常に多い上、ロゼット咲きからポンポン咲きに咲き進むのは、バラには少ない咲き方で面白みがある。蕾から開花して咲き進むまで長期間楽しめそう。一見、はかなげな花弁だが、展示後10日たった状態でまだ散らずに保っているところも棚町氏の育種ならではの。咲き進んだときに外花卉が退色気味になっても、それがあって花形に立体感を添えている。安定したスプレー咲きで病虫害に強く萌芽力があり開花サイクルが早いと、生産効率が高いことも評価できる。ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞、モニター特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】ピンク色のクラシックローズタイプのスプレーバラです。花の大きさは中輪で、ロゼット咲きから開花につれてポンポン咲きになる珍しい花型です。花色はピンク色で、開花につれてピンクの色が薄くなり、中心付近は濃く、外側につれて薄くなり、とても高級感のある色になります。

「ラブリーラズベリーローズ」の名前は韻を踏みました。ラップやヒップホップといった音楽を好きな人たちにも受け入れてもらえるようにと思い、名付けました。

ニュースタイル特別賞

アルストロメリア「グリーンモジャ」 信州 片桐花卉園



受賞者：信州 片桐花卉園（長野県）
 育成者：片桐 鏡仁
 育成者権者：片桐 鏡仁 横浜植木(株)
 審査講評：アルストロメリア「エクストリーム」の枝変わり。オランダ育成種よりもフリンジが強くかかった独特のフォルムで、無花粉のため花保ちもよい。派手さはないが、動きのある花姿とカラーリングは花としてだけでなく、グリーン素材としての可能性もある。アルストロメリアの使い方を広げる期待もこめて、ニュースタイル特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】アルストロメリア、エクストリームからの突然変異。エクストリームよりもグリーンの発色とフリンジが強く、さらに日持ちも夏で10日程度、冬は1ヶ月以上と素晴らしいです。生産性もエクストリームより少し向上しています。

【開発の面白さ・今後の展開など】見た目の奇抜さ、花持ちの良さ、花としてのみならずグリーンの素材として今までアルストロメリアをあまり使ってこなかったお洒落な花屋さんフローリストさんにも提案していけると思います。

カラークリエイト特別賞

セロシア（ボンベイケイトウ）「カカオ」株式会社明日香園

受賞者：株式会社明日香園（佐賀県）

ホームページ：<https://www.asukaen.com>

育成者：山口 秀行

審査講評：光沢がある茶系のカラーリングは、同品目の中ではこれまでにない色調。オレンジ色というよりややテラコッタ色寄り、秋の雰囲気のアレンジメントなどでコーディネートしやすそう。ゴールドにも見える光沢によって、セロシア独特のテクスチャーにさらに高級感を添える。カラークリエイト特別賞を受賞。大型で、扇型の形状が乱れにくい特性も評価された。
人気投票第4位。



フォトジェニック特別賞

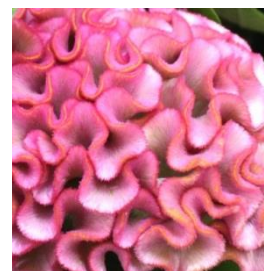
セロシア（ボンベイケイトウ）「ラビリンス」株式会社明日香園

受賞者：株式会社明日香園（佐賀県）

ホームページ：<https://www.asukaen.com>

育成者：山口 秀行

審査講評：虹色のように発色する光沢も美しい、ニュアンスカラーの雰囲気が洒落た大型品種。写真映えしそうなイメージから、フォトジェニック特別賞受賞。光の加減でややグレイッシュにも見える優しいピンク色は、合わせるものを選ばず用途の幅が広そう。扇の形が乱れにくく、生産時期を選ばない。



ライフデザイン特別賞

キク「セイヌーボ」イノチオ精興園株式会社



受賞者：イノチオ精興園株式会社(広島県)

ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp>

育成者：廣瀬 信雄・熊田 謙久

育成者権者：イノチオ精興園株式会社

審査講評：カップ咲きのミニバラのような、スプレーギクらしからぬキュートな花形とカラーリング。中心からふんわり広がる温もりある淡いサーモンピンク色は、時期により淡ピンクやベージュなど変化する。開花が進むほど、花形に厚みが出て丸く変化し、誰もが好むかわいらしさ。汎用性が高く、とくにカジュアルなアレンジメントにもお勧めできる。樹勢が強く、病虫害も少ない。ライフデザイン特別賞同時受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】従来の菊のイメージを変えるような珍しい花型というコンセプトは、社内で昨今力を入れて取り組んできています。そのひとつとして、様々なシーンで使用できるかわいらしい花の形の品種を作出できました。このコンセプトの品種群を活用して、マムの魅力を幅広く伝えていきます。

【開発の面白さ・今後の展開など】1000本栽培したら1、2本は花色の変化が起こるというような品種です。生産面では不安定さの問題もありますが、突然変異で出てきた他の花色も含めて安定化させることで、花色バリエーションを増やしてシリーズ展開していくことを計画しています。

ジャパndeザイン特別賞

キク「セイマノア」イノチオ精興園株式会社



受賞者：イノチオ精興園株式会社(広島県)

ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp>

育成者：廣瀬 信雄・宮口 徹

育成者権者：イノチオ精興園株式会社

審査講評：古典菊を彷彿させる、ウェーブのかかる花弁とゴージャスで珍しい花形が見事。咲き進むにつれて外花弁がランダムに枝垂れて厚みを増し、キクの「花芸」のような表情を見せる。花姿の変化を楽しむような観賞の仕方ができ、ジャパndeザイン特別賞受賞。

茎は細いが硬い。高温期は花色が薄くなるが、開花は正常花弁はしっかりしており、ネット不要のディスバッド品種で、作業効率が良い点も評価できる。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】昨今ディスバッドマムに徐々に注目が集まってきました。キクには様々な色や花型のものがありますがあまり見たことのないような花型を、との思いで開発しました。この品種も珍しい花型をしています。ぜひ満開になって花が丸くなるまで見て欲しいと思います。

【開発の面白さ・今後の展開など】キクは非常に多様性に富んだ品目です。まだまだイメージを膨らませることが出来る可能性を秘めています。今後も魅力ある品種を作っていく、ディスバッドマムがもっと一般の人に知って頂けるようになれば、と願っております。

カラークリエイト特別賞

デルフィニウム「フィナルイエロー」フラワーロード企画



受賞者：フラワーロード企画（長野県）

育成者：横山 優

育成者権者：横山 優

審査講評：ジャイアント系デルフィニウムでは希少なクリームイエローで、カラークリエイト特別賞受賞。これまでにない花色で、合わせる花色を選ばない。大きな花弁は全体が黄色く花つきが良い。ただし、個々の開花状態にばらつきがあることがやや気になった。

茎の硬さもしっかりしている。灰色かび病、青枯れ病に強い。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】長年作ってきた中から、今回入賞した小さな一本の花が咲いた。最初は種が付きにくく固定化することが難しかったが、数年かけて育種し商品として出荷できる品目に作り上げた。

【開発の面白さ・今後の展開など】毎年、特殊な花が咲いてくる。そういった花は種が付きにくく、株もすぐ枯れてしまう。独自に特殊な方法で増殖し、数万本の中から種がつくものを作り出す。自分たちの作りだした花を世の中の人に見ていただき喜んでもらいたい。

ブリーディング特別賞

トルコギキョウ「PFダブルスノー」株式会社 サカタのタネ



受賞者：株式会社 サカタのタネ（神奈川県）

ホームページ：<http://www.sakataseed.co.jp/>

育成者：森 一俊

育成者権者：株式会社 サカタのタネ

審査講評：世界初、待望の無花粉の八重咲き品種。スピード感を持って世に出したことも評価された。

花粉がないため美しい純白の花が汚れず、花弁も厚いことから、良い状態を長く保つ。無花粉で日持ちがするというだけでなく、同社の中輪種の名作「ロジーナ」のようなかわいらしいバラ咲きで、サイズ感、側枝が長く使い勝手の良いことなど、総合的に優れている。

格調高い端正な雰囲気で、花粉汚れがない白品種は、ブライダルにぴったり。また、ホームユースもしやすく、どんな用途にも安心してお勧めできる。ブリーディング特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「ソロ® PF」シリーズは花粉がなく花持ちが長い一重咲き品種としてご好評を頂いています。バラ咲きのピュアホワイトは、結婚式などの業務需要のみならずホームユースとしても人気が高く、これを「PF」化することにより消費者に今まで以上に長く花を楽しんでいただけるものと期待し開発を行いました。

【開発の面白さ・今後の展開など】「PF」系の品種は在圃性のよさ、花持ちのよさに優れるため生産者様、消費者様からご好評を博していますが、今後は「PF」バラ咲き系で追加花色を育成することに加え、他の花形での「PF」タイプの品種開発にも取り組んでいきたいと思っております。

グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「ジュリアススノー」カネコ種苗株式会社



受賞者：カネコ種苗株式会社(群馬県)

ホームページ：<http://www.kanekoseeds.jp/>

育成者：北爪 伸英

育成者権者：カネコ種苗株式会社

審査講評：強いフリンジが立体感を添える美しい純白品種。品種名はフランス語で「豪華」を意味する「ラグジュアリス」に因む。端正で豪華な花型でかつ「ちょうど良い」軽やかなサイズ感で、あらゆる用途に向く。ブライダルはもちろん、アレンジメントやホームユースにもお勧めできる。

茎は非常に硬く、枚数の多い花弁もしっかりとしており、花保ちも期待できる。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】当社のフリンジ咲きユーストマのジュリアスシリーズは、豪華でボリュームのある花形が人気で、冠婚葬祭等で多く用いられています。ジュリアスシリーズにはユーストマで最も需要の多い白色の品種が無かったため、同シリーズの特長である花弁質の強い純白色の品種を目的として開発を行いました。

【開発の面白さ・今後の展開など】ユーストマは同じ品種でも作型や生産者によって花の色や表情に違いが出やすいため、新品種の候補が期待通りにならないこともあり、そこが難しく、且つ面白いところです。ジュリアススノーは中輪咲きで、シリーズの中では花が小さめですので、大輪咲きでより豪華な品種の開発を行っていきます。

モーストジョイ特別賞 ライフデザイン特別賞

バラ「フレンチラムローズ」有限会社たなまち園芸場



受賞者：有限会社たなまち園芸場(福岡県)

育成者：棚町 満

育成者権者：棚町 満

審査講評：濃ピンクのオープンカップのロゼット咲きは、スプレー咲きながらも中大輪で、ゴージャス。花弁が丈夫で微香があり、アレンジやブーケなど使用範囲が広いことから、モーストジョイ特別賞とライフデザイン特別賞同時受賞。花が大きいことから、ステムにもう少し硬さがあると、アレンジメントなどにも扱いがしやすいかもしれない。病虫害に強く、開花サイクルが早いこともあり、生産効率が低い。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ピンク色のオープンカップ咲きのスプレーバラです。開花につれて、ロゼットの花型が表現豊かに開いていきます。花色は蕾のときはフレンチローズピンク色で、開花に連れて薄くなります。花の大きさは中輪で、スプレー咲きのため、アレンジやブーケなどには切り分けて使用でき、ワンポイントでも抜群の存在感を出してくれます。「フレンチラムローズ」の名前は、甘い大人のお酒の「ラム酒」とフレンチローズピンクの「フレンチ」から名付けました。

グッドパフォーマンス特別賞

バラ「ローテヴェルト」アサミ・ローズ・セレクション



受賞者：アサミ・ローズ・セレクション(兵庫県)
育成者：浅見 均
育成者権者：佐藤靖雄
審査講評：ツヤのある赤い大輪。深みのある赤色だが、暗すぎずあらゆる場面での美しい赤が際立つ。上品なベルベット生地のような花弁は、しっかりとした厚さがあるが、やや傷つきやすい点の改善に期待したい。トゲは少なく扱いは非常に良い。ローテローゼより花弁数が20枚程度多く、時代の好みにマッチした花容と言える。

耐病性に富み、葉が小さく農薬が掛かりやすく効率的であり、生産性も高い。

最新品種が及ばなかった弱点をカバーしたことに、マスターピースの再来を感じる。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】

・経緯

1986年～2010年頃まで赤バラ「ローテローゼ」が生産量NO.1であったが、現在は「サムライ08」に明け渡した。再び生産量NO.1を奪還するため10数年かけて品種改良を行ってきた。

・コンセプト

色：明るい赤、生産者：生産効率、消費者：花持ちを重要視して品種改良に取り組んできた。

今回のグッド・パフォーマンス特別賞は、義父である浅見が育種し、私が栽培した親子二人三脚で受賞できた大切な賞だと思っています。

【開発の面白さ・今後の展開など】

年に1度しかできない交配は、厳しさもありますが、毎年、種を撒いてから1番花が咲くときのドキドキ感が面白いです。まだ赤バラには、幅広いレパートリーがあるので、これからも赤バラの品種改良に努めていきます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2020

有限会社矢祭園芸 シクラメン「ローゼスピンクバイカラー 万重EX」



受賞者：有限会社矢祭園芸（福島県）

ホームページ：<http://ysflower.jp/>

育成者：金澤 美浩

育成者権者：金澤 美浩

審査講評：

幾重にも重なった花弁が丸いボール状になる花は、八重を超える万重咲きの豪華な姿。香りも感じられる。ボール状になった花の枝垂れが少なく改良されている点も評価される。

花の魅力だけでなく、花粉がないため開花期間が非常に長いこと、耐寒性も強く育てやすいことなど、おすすめポイントが多い。

ギフトに選ばれる華やかさと上品さ、贈った後の安心感を備えている。人気投票第3位。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプト、今後の展開など】 チモシリーズの中から更に花弁重ねが多く、雄しべも弁化したものをローゼスシリーズとしています。

この品種は特に花がボール状になり、今までのローゼスと比べると花茎が太く、花が枝垂れにくく改良しております。花の寿命も長く、2か月以上は観賞でき、強さについてもチモシリーズ同様丈夫で、2年目以降も良く咲いてくれます。

今後、いろいろな花色のローゼスシリーズを発表していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング特別賞同時受賞]

シクラメン「天使のはね パープルホワイトフェザー」ハクサンインターナショナル株式会社

受賞者：ハクサンインターナショナル株式会社（愛知県）

ホームページ：<http://www.hk-int.jp/>

育成者：細金 裕

育成者権者：ハクサンインターナショナル株式会社

審査講評：

園芸品種×原種系品種との種間によって生み出された全く新しいタイプのシクラメン。シリーズには、ホワイト系品種とパープル系の品種もあるが、今回の出品は白地にピンクパープルをブラシで掃いたような絶妙な色合の品種。内側の突起状の花弁や、外側に反り返る外側の花弁が個性的。フリルいっぱいのスカートようにも見える美しく魅力的な品種。

花を下方からのぞき込む形となるが、厚くしっかりとした旺盛な葉によって魅力たっぷりの花が少し見えにくい。株全体のバランスが改善されることにより魅力が増すだろう。

見た目の美しさ、新規性だけでなく、日持ち、花期の長さ、耐寒性など、新たな用途にも使ってみたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）、ブリーディング特別賞を同時受賞。人気投票第5位。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】30年前に園芸品種×原種系品種との種間交雑に偶然にも成功した奇跡のシクラメンが誕生しました。当時はあまりにも奇抜な花型のため、開発をいったん止めてました。しかし、近年は変わった花型の品種も人気が高くなり育種を再開して「天使のはね」を商品化することができました。

【開発の面白さ・今後の展開など】「天使のはね」は花色が豊富で様々な花色の天使のはねが羽ばたいています。今後は花が中輪および大輪、またはより突起状のヒダが多い花弁の花型など開発がすすんでいます。近い将来、バージョンアップされた新たな天使のはねに出会えるかもしれません。期待が膨らみます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパニデザイン特別賞・モニター特別賞同時受賞]

シクラメン「ウインク ジュ フェリエ（仮）」有限会社さかもと園芸

受賞者：有限会社さかもと園芸（群馬県）

ホームページ：<http://sakamotoengei.com/>

育成者：坂本 ティアムチャイ

育成者権者：有限会社さかもと園芸

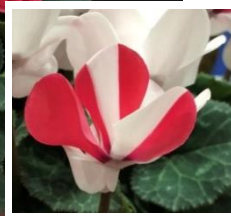
審査講評：

あえて株の中心に花を寄せずに、散らばせた自然な雰囲気の花八重咲品種ウインクシリーズ。赤色、白色の単色、混合職の花弁がランダムに咲き、1つとして同じ鉢がないというコンセプトも楽しい。小輪多花、花粉が出ないので1つ1つの花が長持ちするのは従来のウインクシリーズ通り。

ジュ フェリエ（仮称）はフランス語で「祝いの日」の意。日本人好みの紅白の色合いと、特別な一鉢を贈るということで、わかりやすい品種名やキャッチコピーをつけてストーリー性を持たせることで年末の楽しいギフトになりそう。

生産の際に紅白のバランスや安定した咲き分け、ロス率などがポイントとなるが、今後の育種の素材としても価値があるだろう。

ベスト・フラワー（優秀賞）とジャパニデザイン特別賞を同時受賞。人気投票第モニター1位でモニター特別賞も受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞）

[カラークリエイイト特別賞・モニター特別賞同時受賞]

ユーフォルビア（ポインセチア）「イエロールクス」株式会社ハクサン

受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）

ホームページ：www.hakusan.co.jp

育成者：Dummen Orange

育成者権者：J&H Japan

審査講評：これまでになかった抜けるような鮮やかな黄色のポインセチア。年末の花き商材としては黄色が少なく、自宅用、贈答用ばかりでなく、キャッチーな色目はクリスマスから正月期の装飾などにも利用価値が高い。どんな光源にも映えやすく、写真映えもする。

ベスト・フラワー（優秀賞）と人の色彩の感性に訴える品種としてカラークリエイイト特別賞を同時受賞。人気投票第1位でモニター特別賞も受賞した。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】これまでのポインセチアの長い歴史の中で初めて、輝くような黄色の品種の開発に成功しました。イエロールクスが冬に明るくお部屋を彩ってくれます。コンパクトな性質のため近年人気の小鉢生産に向いています。

【開発の面白さ・今後の展開など】ポインセチアは世界中のクリスマスに欠かせない植物です。今後もわくわくする色や形の植物を開発し、皆様にお届けいたします。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ニュースタイル特別賞同時受賞]

ファレノプシス「チャーリー」有限会社椎名洋ラン園

受賞者：有限会社椎名洋ラン園（千葉県）

ホームページ：https://sheena.ranran.co.jp/

育成者：椎名 正剛

育成者権者：椎名 正剛

審査講評：個性的なカラーリング。花つきもよく、小さめの花にはコケティッシュな可愛らしさがあり、ダークカラーのランにありがちなグロテスクさが全くない。チョコレート色のような、あずき色のようにもとれる花色は、合わせる鉢色や鉢のテクスチャーによって雰囲気が変わり、花や葉もさらに生きてくる。

地味色ではあるが、花鉢をインテリアの一部としてコーディネートする楽しさのある品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞を受賞。人気投票第4位。



フレグランス特別賞

シクラメン「クレヨン バイオレット」株式会社ハクサン



受賞者 : 株式会社ハクサン (愛知県)
 ホームページ : www.hakusan.co.jp
 育成者 : Schoneveld Breeding
 育成者権者 : Schoneveld Breeding
 審査講評 : 濁りのないピンク色と白色のグラデーションが美しいミニタイプのシクラメン。まさにクレヨンで色付けしたようなラフなストライプのグラデーションは、小さな1株でも楽しみがいっぱい。花が寄せ集まることで、いっそう透明感を増す印象。

オフィスや家庭のテーブルに、自分用に小さな贈り物にと、色々な楽しみ方ができる。ほのかな香りも魅力を加え、フレグランス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】クレヨンで描いたようなユニークなストライプ模様が楽しめるミニシクラメンです。花は一輪一輪違う色合いで咲き、ひとつの株で様々な表情が楽しめます。F1種子系品種のため、高い性能と手に取りやすい価格を実現しています。

【開発の面白さ・今後の展開など】Schoneveldはオランダで幅広い品種開発を行っています。特にシクラメンは定番のベラノシリーズを代表する高い性能の商品をお届けしています。今後クレヨンのようなユニークな品種を続々と開発しますのでお楽しみにしてください。

グッドパフォーマンス特別賞

ファレノプシス「アイ ファンタジア」アイファーマーグループ蘭工房



受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房 (愛知県)
 ホームページ : <https://www.rakuten.co.jp/e87ippin/>
 育成者 : 服部 健治
 育成者権者 : 服部 健治
 審査講評 :

中小輪の枝咲きで、着花輪数が多く見事なボリューム。鮮やかなピンク色、枝ぶりのゴージャスさは、ギフトでもホームユースでも満足感が高い。

比較的温度的変化にも対応でき、健常な品種。生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】枝咲きで且つ花もちの良い品種の開発を目指して数種取り組む中で、発色の優れたこの品種が生まれました。ボリューム感も兼ねており、華やかに飾れる品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】今後も温度差にも強く体力を持った、丈夫で長もちな品種の開発を継続していきたいと思います。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2020

株式会社ハクサン ガイラルディア「スピントップ イエロータッチ」



いい花の新基準。



9/2撮影

受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
ホームページ：www.hakusan.co.jp
育成者：Dumen Orange
育成者権者：J&Hジャパン
審査講評：夏の花壇によくマッチする、目に焼きつくほどの鮮烈な花色。連続開花性があり、株割れすることなくコンパクトにまとまっている。1株でもブーケのような仕上がり、群植すると遠目にも鮮やかで存在感がある。

長梅雨にも大きな変化なく、過湿にも強かった。良い状態を保ちながら夏も休まずに秋まで咲き続けていることが評価された。

丸い花がらの形状も可愛らしく、花がら摘みも不要のローメンテナンスで、咲き終わりまで観賞価値が高いところも良い。晩秋まで楽しめるので、ハロウィンなどにも利用できそう。

今後、優しい色目の展開があることにも期待したい。



10/13撮影

屋根付き施設



▲2020/6/2
（定植後2日）

▲2020/7/14
（定植後48日）

▲2020/8/18
（定植後83日）

▲2020/9/15
（定植後111日）

▲2020/10/13
（定植後139日）

露地花壇



▲2020/6/2（定植後6日）

▲2020/7/16（定植後50日）

▲2020/8/18（定植後83日）

▲2020/10/13（定植後139日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】春から冬まで連続開花し、夏の間も咲き続けるガイラルディアです。コンパクトにまとまるため、乱れずに長期間開花します。

日本のほとんどの場所で冬越しする耐寒性、近年の酷暑、雨にも負けない、あまり肥沃でない土壌でも育つため、広範囲な地域、場所で楽しめます。

【開発の面白さ・今後の展開など】ビギナーの方にも十分に楽しんでいただける品種を開発して参ります。スピントップシリーズの別の花色も準備しておりますので、ご期待ください。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ビオラ「クイックタイム ホワイトブロッチ」株式会社エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>
 育成者：Pan AmericanSeed
 育成者権者：Pan AmericanSeed
 審査講評：低温・短日期でも開花が途切れず、花数も多く、花の傷み（灰色かび病）もなく、花がらも目立たない。従来品種に比べて耐寒性に優れ、冬から春にかけての花上がりが非常に良かった。中心に入った紫のブロッチによって、冬期には寒々しく見えがちな白花にもインパクトが生まれ、冬花壇ににぎやかになる。
 花梗が短く丸くこんもりしたまとまりある姿に仕上がるので、1株を大きく育てても、群植してもどちらの使い方にも対応できる。寄せ植え、ハンギングバスケットに利用しても長く楽しめるだろう。
 株姿が乱れないので、春に慌てて植え替えなくても良い点も評価できる。
 様々な観点からグッドパフォーマンスが認められた品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時に受賞。



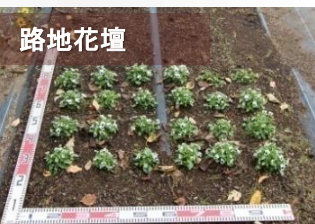
▲2019/10/31
（定植後22日）

▲2019/11/26
（定植後48日）

▲2020/2/18
（定植後132日）

▲2020/3/27
（定植後169日）

▲2020/4/21
（定植後194日）



▲2019/10/16（定植後7日）

▲2019/12/20（定植後72日）

▲2020/2/18（定植後132日）

▲2020/4/7（定植後180日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「生産者のために進化したビオラ」

一般的なビオラの生育期間より播種から出荷までが、2週間程度、短縮できます。そのため、暑さがやわらぐ盆明けの播種でも10月中旬からの出荷が可能になりました。年々平均気温が上昇している昨今、冷涼な環境下でなくても長期にわたり生産が可能になりました。

【開発の面白さ・今後の展開など】早生品種のため、秋の植え付け後、早く株が充実することにより花付きが良くなり、さらに寒さに強いことから、冬から春の花上がりも良く、連続開花に優れています。

ベスト・フラワー（優秀賞）

ナデシコ「ミーテ ピーチラテ」サントリーフラワーズ株式会社



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>
育成者：サントリーフラワーズ株式会社
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評：花の中心に赤い模様が入り、にぎやかな印象、ほのかに芳香もあるナデシコ。草姿のバランスと花のイメージが合っている。

屋根付き施設での栽培のほうがパフォーマンスが優れていた。花色も雨よけ下の方が濃い色をキープしており、露地では淡いピンクの時間が長かった。

草姿が乱れることなくコンパクトなので、寄せ植えにしたり、コンテナに植えて軒先で楽しむのに向いている。花壇でも蒸れや株割れすることはなかったが、株も花も小さめなので、植える場所について工夫をするといよい。

ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。



6/11撮影



屋根付き施設



▲2020/4/7
（定植後5日）

▲2020/5/7
（定植後30日）

▲2020/5/20
（定植後43日）

▲2020/6/2
（定植後56日）

▲2020/6/16
（定植後70日）



路地花壇



▲2020/4/7（定植後5日）

▲2020/5/7（定植後30日）

▲2020/6/2（定植後56日）

▲2020/6/16（定植後70日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】耐暑性、耐寒性ともに優れ、圧倒的な花数を誇るダイアンサスシリーズ、ミーテシリーズの新品です。花色は季節により変化していき、新しい花が古い花よりも高い位置で咲くように育種したため、花摘みをしなくてもきれいな咲き姿を保つことも特徴のひとつです。

【開発の面白さ・今後の展開など】今後も安心して育てて頂けるように強健な品種で、かつ長い間楽しんでいただけるように花数にもこだわった品種開発を行ってまいります。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞・ブリーディング特別賞 同時受賞〕

インパチェンス「ビーコン ブライトレッド」株式会社エム・アンド・ビー・フローラ



6/24撮影

受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Pan AmericanSeed

審査講評：べと病への抵抗性を高めた、新しいシリーズのインパチェンス。従来のインパチェンスのイメージを変える強健さとボリュームを見せた。

圃場では日よけをせず、半日陰にはならない場所に定植。長梅雨も貢献したかもしれないが、株そのものの強さを感じられた。

露地花壇・屋根付き施設共に素晴らしいパフォーマンスと、明るく発色の良い赤色を見せた。1株植えでは、きれいなドーム状の草姿にまとまった。

強い風雨で株の一部が倒れたこともあったが、1か月ほどでほぼ元通りになった。大株になるが、株の中は蒸れることもなかった。家庭使いだけでなく、商業施設や公共花壇でもパフォーマンスを発揮するだろう。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ブリーディング特別賞を同時に受賞。



6/24撮影



屋根付き施設



▲2020/5/11（定植後1日）

▲2020/6/2（定植後23日）

▲2020/6/16（定植後37日）

▲2020/6/30（定植後51日）



露地花壇



▲2020/5/11（定植後20日）

▲2020/6/2（定植後42日）

▲2020/6/16（定植後56日）

▲2020/7/16（定植後86日）

■受賞者コメント ＊「ビーコン ブライトレッド」「ビーコンホワイト」共通

【開発の経緯・コンセプトなど】10年くらい前のインパチェンスは、サルビアとならぶほど、植栽には欠かせない品種でしたが、インパチェンス特有のべと病により徐々に生産が減ってきた過去があります。べと病に強い抵抗性をもつ「ビーコン」の登場で、その過去に終止符を打つことができました。

【開発の面白さ・今後の展開など】べと病に強い抵抗性を持つ「ビーコン」により、豊富な花色と花付きのよいインパチェンスが、日陰の花壇を彩る花として見直され、安全と安心と共に消費者にお届けできることができるようになりました。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞・ブリーディング特別賞 同時受賞〕

インパチェンス「ピーコン ホワイト」株式会社エム・アンド・ビー・フローラ



6/24撮影



6/24撮影

受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Pan AmericanSeed

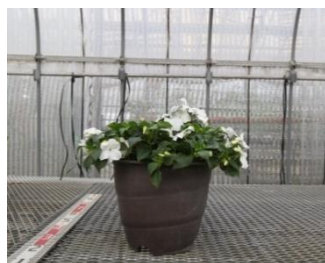
審査講評：べと病への抵抗性を高めた、新しいシリーズのインパチェンス。従来のインパチェンスのイメージを変える強健さとボリュームを見せた。圃場では日よけをせず、半日陰にはならない場所に定植。長梅雨も貢献したかもしれないが、株そのものの強さを感じられた。

露地花壇・屋根付き施設共に素晴らしいパフォーマンスと傷の目立ちにくい美しい白色を見せた。株のまともりは同シリーズの「ブライトレッド」にやや劣るが、きれいなドーム状の草姿にまとまった。

大株になるが、株の中は蒸れることもなかった。家庭使いだけでなく、商業施設や公共花壇でもパフォーマンスを発揮するだろう。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ブリーディング特別賞を同時に受賞。

屋根付き施設



▲2020/5/11（定植後1日）

▲2020/6/2（定植後23日）

▲2020/6/16（定植後37日）

▲2020/6/30（定植後51日）

露地花壇



▲2020/5/11（定植後20日）

▲2020/6/2（定植後42日）

▲2020/6/16（定植後56日）

▲2020/7/16（定植後86日）

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞・グッドパフォーマンス特別賞
モーストジョイ特別賞 同時受賞]

バーベナ「メテオールシャワー」株式会社ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
ホームページ：www.hakusan.co.jp
育成者：Innova Plant
育成者権者：J&Hジャパン
審査講評：

花数、分枝ともに多く、連続開花性に富む。花房は大きい、花がらが目立たないため、ローメンテナンスなところも評価できる。

ニーハイ丈のコンパクトな草姿で、成長しても株が乱れることなく、花茎の間にできる空間から風が抜けていくイメージ。その空間があることで他の草花とも合わせやすい。花茎もしっかりとしていて、長雨の時期にも倒伏することはなかった。

花壇での立体感のある植栽や、寄せ植えでの混植など、様々な楽しみ方が考えられる。

ベスト・フラワー（優秀賞）、グッドパフォーマンス特別賞、モーストジョイ特別賞、ライフデザイン特別賞も同時受賞。

屋根付き施設



▲2020/6/2
（定植後6日）



▲2020/7/14
（定植後48日）



▲2020/8/18
（定植後83日）



▲2020/9/15
（定植後111日）



▲2020/10/13
（定植後139日）

露地花壇



▲2020/6/2（定植後6日）



▲2020/7/30（定植後64日）



▲2020/9/1（定植後97日）



▲2020/10/13（定植後139日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】従来の三尺バーベナのひょろひょろ伸びる、種がこぼれて雑草化するなどの課題を解決した品種です。可愛いボール状の花が50～70cm程度の背丈で咲きます。肥料を与えると自然に分枝し立派な株になります。真夏も連続開花し、冬頃まで咲くため、長期間お楽しみいただけます。

【開発の面白さ・今後の展開など】メテオールシャワーは他の植物やガーデン全体を引き立てる名脇役となりうる品種と思われます。PWではメテオールシャワーに続くボナリエンシス系のハイブリッドバーベナを引き続き開発しています。今後ともご期待ください。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ニュースタイル特別賞 同時受賞〕

コリウス「グレートフォール アラマレ」株式会社ハクサン



9/2撮影

受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）

ホームページ：www.hakusan.co.jp

育成者：Dumen Orange

育成者権者：J&Hジャパン

審査講評：よく分枝し、ピンチしなくても茎に長短があるので立体的に揃って育つ。密になっても株元の枯れもなく、株の広がりにも独自性がありグランドカバーや下草に最適。

多雨でも傷みが見られず、強光下でも葉焼けも葉色あせもなく、美しい状態を保った。花上がりも審査期間中は観察されず、ローメンテナンスで、公共の花壇などにもお勧めできる。

大型品種が多い本品目の中で、扱いやすく、ハンギングバスケット以外にもコンテナでのカスケード仕立てや寄せ植えなど、新たな用途が期待できるため、ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞を同時受賞。



9/2撮影



屋根付き施設



▲2020/6/2
（定植後2日）

▲2020/7/14
（定植後48日）

▲2020/8/18
（定植後83日）

▲2020/9/15
（定植後111日）

▲2020/10/13
（定植後139日）



露地花壇



▲2020/6/2（定植後6日） ▲2020/7/16（定植後50日） ▲2020/8/18（定植後83日）

▲2020/10/13（定植後139日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ハンギングバスケットでも、グランドカバーとしても使え、また日なた、日かげも問わないためマルチに活躍するコリウスです。短日植物であるコリウスは通常夏頃から花が咲きますが、本シリーズは極晩生のため晩秋まで美しい葉が楽しめることも特徴一つです。

【開発の面白さ・今後の展開など】本品種と同様のマルチ性能を持つ、コリウス グレートフォールシリーズを2品種販売しています。今後も幅広い環境、用途で活躍するカラーリーフを開発していきますので、ご期待ください。

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア「サフィニアアート 江戸しぼり」サントリーフラワーズ株式会社



6/24撮影



6/24撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：サントリーフラワーズ株式会社

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

審査講評：白地に絞り染めのような青紫色の縁取りが入った、風情ある花色。気温により、個体によりふち模様の出方も違うが、その差も楽しむことができる。涼し気な印象に合った品種名も耳に心地が良い。

株張りは良く、次々に花をつけ、ふんわりと大株になるが、花壇での直植でも枯れこみや蒸れが少なくきれいに育つ。

グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



▲2020/4/21
(定植後11日)



▲2020/5/20
(定植後40日)



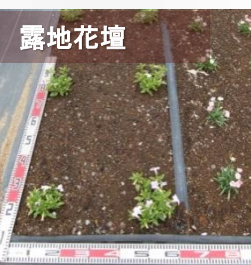
▲2020/6/2
(定植後53日)



▲2020/6/16
(定植後67日)



▲2020/7/14
(定植後95日)



▲2020/4/21
(定植後11日)



▲2020/5/20
(定植後40日)



▲2020/6/2
(定植後53日)



▲2020/6/16
(定植後67日)



▲2020/7/14
(定植後95日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】江戸しぼりは、サフィニアの強健な性質を持ちつつ、これまでに無い花色にこだわったシリーズ、サフィニアアートの新色として育種しました。奈良時代から続く日本の伝統模様である「しぼり染め」が株全体を覆うように咲き広がります。

【開発の面白さ・今後の展開など】これからも世の中になかったユニークな花色にこだわり、なおかつ春から秋まで長く楽しめる強健さをもったシリーズとしてサフィニアアートの開発を続け、ガーデニングユーザーの皆様に喜んで頂ける品種を世に出していきたいと思ひます。

モーストジョイ特別賞・ライフデザイン特別賞

ペチュニア「サフィニアアート とらネコ」サントリーフラワーズ株式会社



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：サントリーフラワーズ株式会社

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

審査講評：遊び心のあるネーミングが興味を惹くこの品種は、気温や肥料によって、クリーム色の地色に出る模様が変化するユニークな小輪のペチュニア。とらネコの模様の様に個性的な花色やその変化が魅力。

花色・葉色は軽やかで、花卉に入る模様もうるささを感じず、花ガラが目立たないという利点もあった。横這性で、旺盛に育つが、梅雨時期には切り戻しをすることをお勧めする。切り戻し後の回復も良いことが確認できた。

一般の消費者の方が興味を持ちやすく、失敗しにくく、生活の中にガーデニングを取り入れるきっかけにもなりそうな品種として、モーストジョイ特別賞と、ライフデザイン特別賞をダブルで受賞。



6/24撮影



6/24撮影



屋根付き施設

▲2020/4/21
(定植後11日)



▲2020/5/20
(定植後40日)



▲2020/6/2
(定植後53日)



ピンチ

▲2020/6/16
(定植後67日)



▲2020/7/14
(定植後95日)



露地花壇

▲2020/4/21
(定植後11日)



▲2020/5/20
(定植後40日)



▲2020/6/2
(定植後53日)



ピンチ

▲2020/6/16
(定植後67日)



▲2020/7/14
(定植後95日)

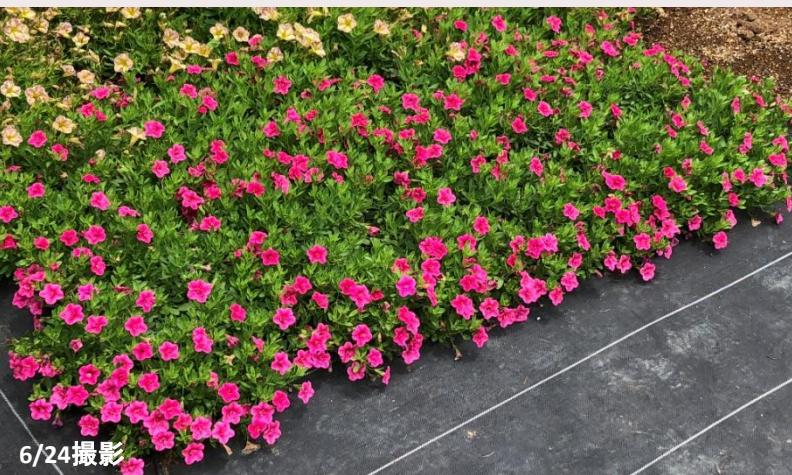
■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】とらネコは、サフィニアの強健な性質を持ちつつ、これまでに無い花色にこだわったシリーズ、サフィニアアートの新色として育種しました。うす黄色とうす茶色のしま模様が、季節によってだんだんと変化していく様はまさにとらネコです。

【開発の面白さ・今後の展開など】これからも世の中になかったユニークな花色にこだわり、なおかつ春から秋まで長く楽しめる強健さをもったシリーズとしてサフィニアアートの開発を続け、ガーデニングユーザーの皆様に喜んで頂ける品種を世に出していきたいと思ひます。

グッドパフォーマンス特別賞

カリブラコア「ミリオンベルプチホイップ ピンク」サントリーフラワーズ株式会社



6/24撮影



7/28撮影



6/24撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
ホームページ：<https://suntory.jp/FLOWER>
育成者：サントリーフラワーズ株式会社
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評：ミリオンベルの八重咲き品種「ミリオンベルプチホイップ」シリーズ。濃いピンク色は、同シリーズの中で最も花が大きい。

株のまとまり、花つきの良さ、草姿のバランスともに良かった。花数は、切り戻しをした方がやや多かったが、切り戻してもしなくても株自体はドーム状にまろくまとまる。花壇でもコンテナやハンギングバスケットなどでも多用途に楽しめ、園芸初心者の方にもお勧めし易い。

4月下旬に定植してから仕上がりも早く、6月中旬にはきれいに咲き揃った。長梅雨で一時花が少なかったが、株そのものは強かった。

消費者にとって扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。



屋根付き施設

▲2020/5/7
（定植後16日）



▲2020/5/20
（定植後29日）



▲2020/6/2
（定植後42日）



▲2020/6/16
（定植後63日）



▲2020/7/14
（定植後91日）



露地花壇

▲2020/5/7
（定植後16日）



▲2020/5/20
（定植後29日）



▲2020/6/2
（定植後42日）



ピンチ

▲2020/6/16
（定植後56日）



▲2020/7/14
（定植後86日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】1株で1,000もの花を咲かせるミリオンベルの八重咲きシリーズ、ミリオンベルプチホイップ。やや赤みがかった濃いピンク色の花色と、花弁の重なり的美しさにこだわって育種された品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】今後はミリオンベルの花数の多さ、株のまとまりの良さ、強健さを保ちつつ、2色咲きやシェードカラーなど花色の展開に注力したいです。

グッドパフォーマンス特別賞

カリブラコア「ミリオンベルプチホイップ レッド」サントリーフラワーズ株式会社



6/24撮影



6/24撮影



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>
育成者：サントリーフラワーズ株式会社
育成者権者：サントリーフラワーズ(株)

審査講評：ミリオンベルの八重咲き品種「ミリオンベルプチホイップ」シリーズ。レッドはやや朱赤の目を惹く赤色。株のまとまり、花つきの良さ、草姿のバランスともに良かった。花数は、切り戻しをした方がやや多かったが、切り戻しをしなくても株自体はドーム状にまるくまとまる。花壇でもコンテナやハンギングバスケットなどでも多用途に楽しめ、園芸初心者の方にもお勧めし易い。

4月下旬に定植してから仕上がりも早く、6月中旬にはきれいに咲き揃った。長梅雨で一時花が少なかったが、株そのものは強かった。

消費者にとって扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。



屋根付き施設



▲2020/5/7
(定植後16日)



▲2020/5/20
(定植後29日)



▲2020/6/2
(定植後42日)



▲2020/6/16
(定植後63日)

▲2020/6/30
(定植後70日)



露地花壇



▲2020/5/7
(定植後16日)



▲2020/5/20
(定植後29日)



▲2020/6/2
(定植後42日)



▲2020/6/16
(定植後56日)

▲2020/7/2
(定植後72日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】1株で1,000もの花を咲かせるミリオンベルの八重咲きシリーズ、ミリオンベルプチホイップ。オレンジがかった赤色の花弁で、夏の暑さの中でも特に安定した花色を保つ品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】今後はミリオンベルの花数の多さ、株のまとまりの良さ、強健さを保ちつつ、2色咲きやシェードカラーなど花色の展開に注力したいです。

グッドパフォーマンス特別賞・カラークリエイト特別賞

ニチニチソウ「フェアリースター ブルー」サントリーフラワーズ株式会社

9/2撮影



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>
育成者：サントリーフラワーズ株式会社
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評：極小輪ニチニチソウのフェアリースターシリーズの青色系品種。細身の花弁と色、枝の伸び具合に長短がある立体感ある草姿も涼し気な印象。終わりかけの花はやや色褪せるが、花色のうつろいも風情と感じられる。

一見地味な花色が目立ちにくく、コンテナや寄せ植えなど近距離から見て楽しむ品種かという評価もあったが、梅雨明けからの猛暑に負けずに花数を増やした様子は、露地の花壇でも存在感を発揮した。長梅雨にも梅雨明けの猛暑にも株の蒸れや病気もほとんどなく、消費者の方が扱っても失敗しにくく、安心してお勧めできる。

グッドパフォーマンス特別賞とカラークリエイト特別賞を同時に受賞。



▲2020/5/20
(定植0日)

▲2020/6/2
(定植後13日)

▲2020/6/16
(定植後27日)

▲2020/6/30
(定植後41日)

▲2020/7/14
(定植後55日)



▲2020/5/20 (定植後0日)

▲2020/6/16 (定植後27日)

▲2020/7/2 (定植後43日)

▲2020/7/2 (定植後43日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】極小輪のニチニチソウの定番、フェアリースターシリーズの最新色。これまでになかったマットな質感をもつブルーの花色と耐病性をより高め、さらに強健な品種であることが特徴。

【開発の面白さ・今後の展開など】今後は花色の展開だけでなく耐病性の向上にも取り組み、梅雨時期にも病気にならず安心して真夏を迎えられるように育種を進めたい。

ニューバリュー特別賞

アガパンサス「サマーラブ ブルー」高松商事株式会社

6/24撮影



受賞者：高松商事株式会社(千葉県)

ホームページ：<http://www.tacoflower.jp/>

育成者：Antoine Vermeir

審査講評：花茎が短くコンパクトな株姿ながら花つき抜群。濃く美しい花色で、6月～7月の開花時期の花壇の様子は見事。

これまでにない四季咲き性の高さをもつという価値を謳う本品種だが、試験地の気候では夏に花が休むことが確認された。植栽地域の気候によって開花に差が生じること、秋の開花に向けての施肥管理のポイントなども紹介しながら販売するとよいだろう。

試験圃場では10月ごろから少しずつ咲き始めており、連続開花性があるとは言い難いまでも、秋の開花も楽しめる品種と言える。

新しい価値観を感じさせ、ガーデンデザインの可能性を広げる品種としてニューバリュー特別賞受賞。

6/24撮影



6/24撮影



屋根付き施設



▲2020/3/27
(定植後24日)



▲2020/5/7
(定植後65日)



▲2020/6/16
(定植後104日)

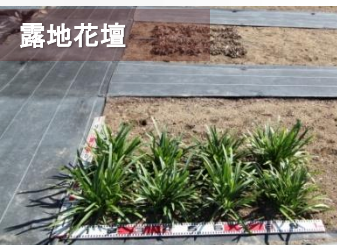


▲2020/7/14
(定植後132日)

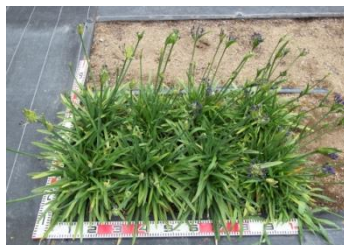


▲2020/7/30
(定植後148日)

露地花壇



▲2020/3/12 (定植後9日)



▲2020/6/2 (定植後90日)



▲2020/6/16 (定植後104日)



▲2020/7/16 (定植後134日)

ジャパンデザイン特別賞

ペチュニア「ICHIMATSUーいちまつー」株式会社エム・アンド・ビー・フローラ



6/24撮影

受賞者：

株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)

ホームページ：

<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Pan AmericanSeed

審査講評：濃紫色と白が絶妙のバランスで出現する個性的な花色。あえて模様を固定させず、ばらつきを個性と表現しているのが面白く、種子系キメラ品種の展開が興味深い。

露地花壇は、今年の長雨では傷みが出てしまったが、ピンチをした株は茎先に新芽をつけてよい状態をキープし、夏季中も株がまとまって開花した。高温多湿下でピンチしなかった株も開花を続けた。

高温多湿に強いとまでは言えなくても定植から3~4か月近くは十分に楽しめる。ピンチなど夏越しの対策を伝えることで、消費者にお勧めし易くなる。

個性的な花色の日本的な趣向からジャパンデザイン特別賞受賞。



6/11撮影



屋根付き施設



ピンチ



▲2020/4/21
(定植後13日)

▲2020/5/20
(定植後40日)

▲2020/6/16
(定植後69日)

▲2020/7/14
(定植後97日)

▲2020/7/30
(定植後113日)



露地花壇



ピンチ



▲2020/4/21 (定植後13日)

▲2020/6/2 (定植後55日)

▲2020/6/16 (定植後69日)

▲2020/9/1 (定植後146日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】スポーツイベントなどをきっかけとしたインバウンドによる観光客の増加が見込まれる中、日本古来の市松染めをイメージしたペチュニアで歓迎したいという想いがありました。

【開発の面白さ・今後の展開など】他のペチュニアと比較すると、降雨後や、花の上からの水やり後の株の立ち上がり早いので、花壇はもちろんのこと、店頭でも見栄えの良い状態が持続します。

ライフデザイン特別賞

マンデヴィラ「サンパラソルビューティ パステルピンク」サントリーフラワーズ株式会社



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：サントリーフラワーズ株式会社

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

審査講評：花色は、サクラ色のような優しいパステルピンク色という万人に好まれる花色で、花卉の縁のウェーブが可愛らしい。小輪多花性だが葉は小さめ、少なめのため適度な隙間があり、涼しげな印象。つるが良く伸び、色々な仕立て・アレンジを楽しめることをセールスポイントにしても良いかもしれない。

株が大きくなるにつれ、株元の分枝は少なくなり花つきも上方に偏りがちだが、7月から夏を越しての連続開花には大きな価値がある。秋になっても開花は衰えず、むしろ花が増えていく様子がみられた。

アブラムシはついたが、ハダニは気にならず、従来品種よりは害虫が付きにくいのも利点。

消費者にとって扱いやすい特性を持ち、生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。



▲2020/5/20
（定植後10日）



▲2020/7/14
（定植後64日）



▲2020/7/30
（定植後80日）



▲2020/9/15
（定植後126日）



▲2020/10/13
（定植後154日）



▲2020/5/20
（定植後29日）



▲2020/6/16
（定植後56日）



▲2020/7/16
（定植後86日）



▲2020/9/15
（定植後146日）



▲2020/10/13
（定植後174日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】サンパラソルビューティは、ぐんぐんのびるつるを、様々なアレンジして楽しめるシリーズです。パステルピンクはその最新色で淡いピンクの花が春から秋まで途切れることなく咲き続けることが特徴です。また性質も強健で、ハダニに非常に強く花だけでなく美しい葉色保ちつづけます。

【開発の面白さ・今後の展開など】ますます暑くなる夏の間でもしっかりと花が咲き続け、初心者の方でも安心して育てられるサンパラソルをこれからも開発していきます。強健さと共に新しい花色にも挑戦していきたいです。

ライフデザイン特別賞

マンデヴィラ「サンパラソルビューティ パールホワイト」サントリーフラワーズ株式会社



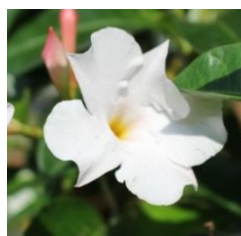
受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：サントリーフラワーズ株式会社

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

審査講評：透明感のあるホワイトの花色と、艶のあるグリーンの葉色のコントラストが美しい。花卉の縁のウェーブに雰囲気がある。小輪で節間が短いながらも葉が小さく、猛暑のなか品良く見える。「サンパラソルビューティ パステルピンク」同様につるが良く伸びる。色々な仕立て・アレンジを楽しめることをセールスポイントにしても良いかもしれない。



7月から夏を越しての連続開花には大きな価値がある。秋になっても開花は衰えず、むしろ花が増えていく様子がみられた。10月の観察では、株元から分枝が出て花が付き始めており、同シリーズの「パステルピンク」と比較すると、より分枝が多かった。

アブラムシの対策は必要だったが、ハダニは気にならず、従来品種よりは害虫が付きにくいのも利点。消費者にとって扱いやすい特性を持ち、生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。

屋根付き施設



▲2020/5/20
(定植後10日)



▲2020/7/14
(定植後64日)



▲2020/7/30
(定植後80日)



▲2020/9/15
(定植後126日)



▲2020/10/13
(定植後154日)



▲2020/5/20
(定植後29日)



▲2020/6/16
(定植後56日)



▲2020/7/16
(定植後86日)



▲2020/9/15
(定植後146日)



▲2020/10/13
(定植後174日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】サンパラソルビューティは、ぐんぐんのびるつるを、様々なアレンジして楽しめるシリーズです。パールホワイトはその最新色で、うすピンクがかった白い花が、春から秋まで途切れることなく咲き続けることが特徴です。また性質も強健で、ハダニに非常に強く花だけでなく美しい葉色保ちつづけます。

【開発の面白さ・今後の展開など】ますます暑くなる夏の間でもしっかりと花が咲き続け、初心者の方でも安心して育てられるサンパラソルをこれからも開発していきます。強健さと共に新しい花色にも挑戦していきたいです。

グッドパフォーマンス特別賞・ニューバリュー特別賞

ヒポエステス「ピッピ ホワイト」株式会社ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
ホームページ：www.hakusan.co.jp
育成者：Garden Genetic
育成者権者：J&Hジャパン
審査講評：

ガーデンで利用できるヒポエステス。白いブロッサが夏のガーデンを涼しげに演出できる。分枝が多いが茂りすぎず、透けることもなく、また、株が倒れることもなく、安定した草姿。屋根付き施設での栽培より、露地花壇の方がとう立ちも遅く、コンパクトにまとまった美しい姿を長く維持していた。

露地花壇では夏の強光により、葉の傷みと葉縁の縮れ・変形が見られたことが少し気になった。屋根付き施設ではこれらの難点が見られなかったため、シェードガーデンに向いているかもしれない。

従来品種と比べ、寄せ植えやハンギングバスケットにも使いやすいそう。グッドパフォーマンス特別賞とニューバリュー特別賞を受賞。

屋根付き施設



▲2020/6/2
（定植後2日）

▲2020/7/14
（定植後48日）

▲2020/8/18
（定植後83日）

▲2020/9/15
（定植後111日）

▲2020/10/13
（定植後139日）

露地花壇



▲2020/6/2定植後6日）

▲2020/7/16（定植後50日）

▲2020/8/18（定植後83日）

▲2020/10/13（定植後139日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ガーデンパフォーマンスを向上させたヒポエステスです。一般種と違いコンテナなどで寄せ植えにしても、他の植物に負けず存在感を感じていただけたと思います。短日植物ですが、従来種よりも花が咲きにくく改良しておりきれいな葉を長期間お楽しみいただけます。

【開発の面白さ・今後の展開など】これまで以上に使いやすいカラーリーフを幅広く開発しています。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、受賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしなくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1～3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



ご存じですか？ ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。

ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭のPOPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカタログや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン

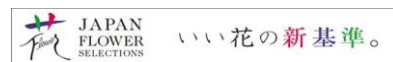
* JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。



■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

■ その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■ JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）

認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。

認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。